

(3) 産褥期の母乳育児支援状況

ア 母子同室

病院については491施設(77.1%)、有床診療所は136施設(87.2%)が、母子同室であった(図8)。同室とする時期は、病院では、分娩後14.5±16.0(平均±標準偏差)時間、有床診療所では14.9±16.4時間であった。分娩直後からの同室は病院では86施設(13.5%)、有床診療所では20施設(12.8%)であった。分娩後24時間の時点で母子同室とする施設が、病院では128施設(20.1%)、有床診療所では32施設(20.5%)と最も多いタイプであった。

また、終日母子同室としているのは病院では399施設(62.9%)、有床診療所は144施設(73.1%)であった。

分娩直後から母子同室としない理由は、病院では設備上の問題や母体の疲労回復のため、赤ちゃんを観察するためあげられ(表8)、有床診療所でも同じ傾向であった。

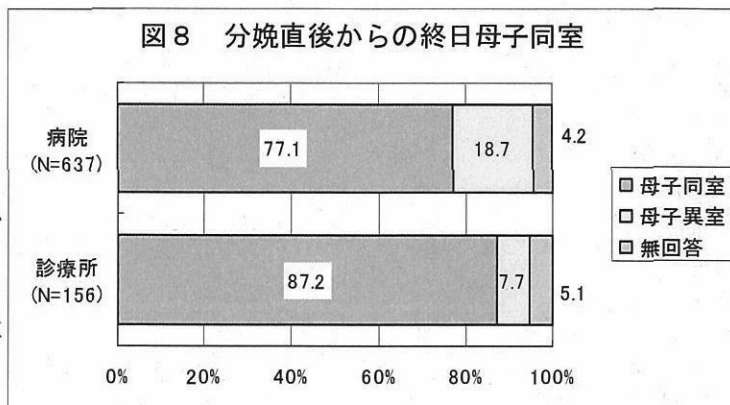


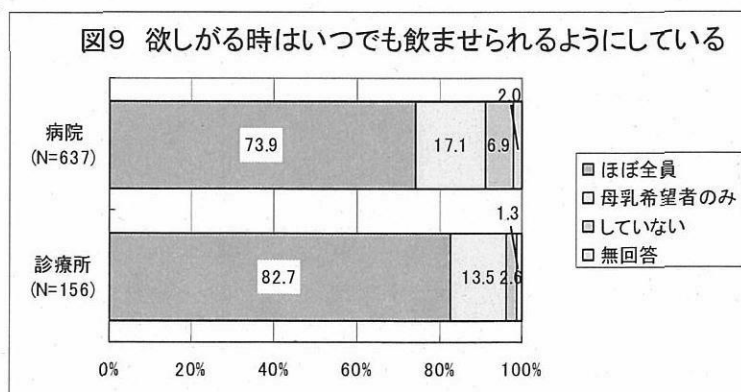
表8 分娩直後から終日母子同室としない理由(病院 n=632)

もっともあてはまる理由			2番目にあてはまる理由		
順位	項目	回答数	順位	項目	回答数
1	設備上の問題	131	1	赤ちゃんを観察するため	131
2	母体の疲労回復のため	117	2	母体の疲労回復のため	88
3	産婦や家族が希望しない	88	3	管理上の問題	50
4	管理上の問題	48	4	産婦や家族が希望しない	42
5	人員不足	43	5	病院の方針や慣習	34
6	病院の方針や慣習	13	6	医師の方針	28
7	医師の方針	10	7	人員不足	17
8	その他	6	8	その他	10
9	赤ちゃんを観察するため	3	9	設備上の問題	2

資料：平成18年度児童関連サービス調査研究等事業「母乳育児推進に向けた支援方策に関する調査研究」(主任研究者 谷口千絵)

イ 授乳について

母乳育児に関する何らかの授乳指導を実施している施設は病院では622施設(97.6%)、有床診療所では153施設(98.1%)であった。「ほぼ全ての赤ちゃんが欲しがるときにいつでも母親が母乳を飲ませられるようにしている」と回答した施設は病院では471施設(73.9%)、有床診療所では129施設(82.3%)であった(図9)。



資料：平成18年度児童関連サービス調査研究等事業「母乳育児推進に向けた支援方策に関する調査研究」(主任研究者 谷口千絵)